

令和7年度 第1回「エコシティたかつ」推進会議 次第

日時：令和8年2月16日（月）9時45分から

場所：すくらむ21 4階 多目的室

1 開会

2 副区長あいさつ

3 議事（質疑応答含む）

（1）令和7年度「エコシティたかつ」推進事業における取組結果について

ア 学校流域プロジェクト

イ たかつの自然の賑わいづくり事業

ウ 普及啓発の取組について

（2）令和8年度取組予定について

（3）情報交換

4 その他

5 閉会

<配布資料>

資料1 「エコシティたかつ」推進事業 令和7年度スケジュール

資料2 「学校流域プロジェクト」の進捗状況について

資料3 「たかつの自然の賑わいづくり」事業の進捗状況について

資料4 普及啓発の取組について

資料5 「エコシティたかつ」推進事業 令和8年度スケジュール

資料5-1 寄附金活用事業について

「エコシティたかつ」推進事業 令和7年度スケジュールについて

1 令和7年度スケジュール

事業名	内容等
学校流域プロジェクト	・動画を活用したビオトープ管理（通年）
「たかつの自然の賑わいづくり」事業	・水と緑の探検隊（3月） ・流域治水ガーデン整備推進（通年）
橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進	・高津さんの市（6回、通年） ・出張高津さんの市（2回、通年）
「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進	・「区民ミニ・ガーデン」連絡会（4回、通年）
小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト	・小学校での出前授業（12月）
「エコシティたかつ」推進会議	・推進会議（2月）

2 令和6年度からの主な動き

・「学校流域プロジェクト」の取組について

区内小学校及び中央支援学校への学習支援は、令和3年度に本事業で作成した環境学習支援の動画コンテンツを主に活用し、普及啓発に努めた。

・流域治水ガーデン（レインガーデン）の整備について

令和4年度から取り組んでいる緑ヶ丘霊園内の湧水地付近での流域治水ガーデンについて、令和7年度は市制100周年全国都市緑化かわさきフェア春の開催に合わせて、緑ヶ丘霊園事務所と連携し、地域住民や墓参者の憩いの場として散歩道を整備した。

また、6月下旬には流域治水ガーデンのノカンゾウが辺り一面に開花し、これまで継続してきた取組の成果が確認できた。

本取組は霊園内に自生する希少植物や在来植物を保全するとともに、適応策にもつながっている。（詳細は後述）

令和 7 年度 「学校流域プロジェクト」の取組について

1 学校流域プロジェクトについて

学校にビオトープや雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクト

2 環境学習支援の実施状況について

生物多様性保全や防災意識の啓発等を目的として、区内各校で次のとおり学習支援を行った。

久本小学校	5月14日 5月21日	学校内花壇の清掃など（レインガーデン整備）
下作延小学校	11月17日	緑ヶ丘霊園内湧水地において、ノカンゾウ移植（レインガーデン整備）の出前授業
南原小学校	1月14日	学校内でノカンゾウ移植（レインガーデン整備）

3 その他 動画コンテンツを活用した環境学習支援等について

環境学習支援を目的に令和3年度に作成した動画コンテンツ（2本）を活用

(1) 「ビオトープを作ろう」

○コンテンツの内容

学校流域プロジェクトのプログラムの一つ「ビオトープ＝生きものがくらす場所」に関連し、区内小学校のビオトープの活用事例の紹介や蝶やトンボの成長過程を解説

(2) 「ビオトープの整備・活用・管理（指導者編）」

○コンテンツの内容

学校指導者を対象とした、ビオトープの作り方や定期的な管理と学習活用を解説

○活用方法

区内小学校等における環境学習のための教材として、動画コンテンツを提供するとともに、他区の小学校等においても環境学習に活用してもらえるよう、ホームページ（YouTube「川崎市たかつ区チャンネル」）で公表中。



「ビオトープを作ろう」



「ビオトープの整備・活用・管理（指導者編）」

令和7年度 「たかつ自然の賑わいづくり」の取組について

1 「みどりの里親」事業による高津区に自生している希少植物等の保全活動

※みどりの里親とは

エコシティたかつ事業で活動する緑ヶ丘霊園内等、区内に自生する希少な在来植物を、専門家の指導のもと地域の学校・団体・事業者等との協働により保全・育成し、株を増やして本来の場所に戻す活動。生物多様性の保全に貢献している。

※レインガーデンとは

流域思考を学べる花壇。斜面地に保水力のある植物を配すると、「土留め」の効果を発揮する。アスファルトで固められた地面と異なり保水力があり、降雨時に川に流れ込む雨水の量を減らすことができる。

流域思考を踏まえた気候変動適応策のひとつで、防災意識の醸成、生物多様性保全の理解促進にもつながる。

(1) 久本小学校前花壇におけるノカンゾウ保全及びレインガーデン整備

ア 日 時 令和7年5月14日（水）、5月21日（水）午後

イ 会 場 久本小学校

ウ 参加者 寺子屋参加者（久本小学校2～4年生） 19名

エ 内 容

○TR ネットによる作業趣旨・内容の説明



○草むしりの様子等





(2) イベント「脱炭素アクションみぞのくち広場」における「みどりの里親」募集活動

ア 日 時 令和7年11月8日（土）

イ 会 場 JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路

ウ 参加者 高津区役所企画課の出展ブース来訪者 92名

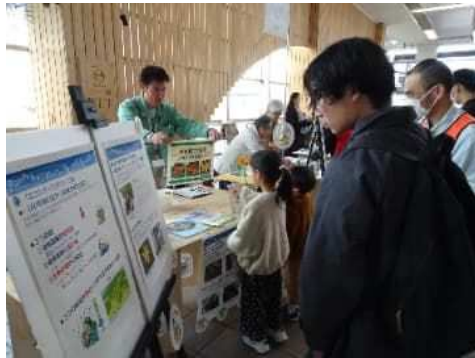
エ 内 容

○展示物等



○みどりの里親の説明、ノカンゾウ保全クイズ





(3) 下作延小学校との霊園内湧水地でのノカンゾウ保全及びレインガーデン整備

ア 日 時 令和7年11月17日(月) 9時00分～11時00分

イ 会 場 緑ヶ丘霊園内湧水地

ウ 参加者 下作延小学校5年生3クラス 約80名

エ 内 容

○TR ネットによる作業趣旨・内容の説明



○植え付けの様子





(4) 令和6年度みどりの里親との霊園内湧水地でのノカンゾウ保全及びレインガーデン整備

ア 日時 令和7年11月27日(木) 午後

イ 会場 緑ヶ丘霊園内湧水地

ウ 参加者 令和6年度みどりの里親 2名

エ 内容

OTRネットによる作業趣旨・内容の説明、植え付けの様子



(5) 南原小学校でのノカンゾウ保全及びレインガーデン整備に向けた環境学習

ア 日時 令和8年1月14日(水) 10時45分～11時30分

イ 会場 南原小学校

ウ 参加者 南原小学校5年生2クラス 約50名

エ 内容

○TR ネットによる作業趣旨・内容の説明



○植え付け・児童の様子



2 たかつ水と緑の探検隊

※令和7年度の実施は3月2日（月）を予定しています。

【参考 昨年度実施状況】

- (1) 日 時 令和7年1月23日（木） 8時50分～12時00分
- (2) 会 場 緑ヶ丘霊園谷戸内
- (3) 参加者 下作延小学校5年生3クラス：約80名／教師：3名
- (4) 内 容

○作業内容説明



○森づくり体験（木の間伐）



○水辺の生物の観察



3 その他

(1) かわさき都市緑化フェア春に向けた緑ヶ丘霊園湧水地の整備など

ア 時期 令和7年3月下旬～4月中旬

イ 場所 緑ヶ丘霊園湧水地

ウ 内容

○湧水地周辺の様子



○エビネの様子



○水辺の生物の様子



(2) 緑ヶ丘霊園湧水地レインガーデンのノカンゾウの開花

ア 時期 令和7年6月下旬～7月上旬

イ 場所 緑ヶ丘霊園湧水地

ウ 内容

○ノカンゾウの様子



普及啓発の取組について

1. 小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト

1. 目的

小学校敷地を小流域と見立て、その中の水循環を考える「学校流域プロジェクト」の一環として、流域での自然の地形（大地のデコボコ）を前提とした水の流れを意識し、適応策を考えるための機会を提供する。

2. 取組内容

「エコシティたかつ」推進会議委員である明治大学工学部建築学科田中研究室と協働で、川崎市立南原小学校周辺敷地を数年間にわたって3次元スキャナーでデータ計測して作成した立体視画像やフライスルー・ムービーなどを用いて同校で出前授業を行った。

(1) 南原小学校への出張講義

日 時：令和7年12月19日（金）9：30～10：30（2時限）

場 所：南原小学校視聴覚室

参加者：5年生2クラス（約50人）

児童保護者の方々（5人）

概 要：「大地のデコボコから、みんなのまちの防災を考えてみよう」

小学校敷地の周辺の1/2000地形模型や過去から現在までの異なる時代の航空写真、「小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト」の成果物である3D点群データによる画像・映像などを用いて、子どもたちにも分かりやすい形で題材を提供し、自分たちが住むまちや通っている小学校がどんな場所なのかを子どもたちが気づき、考える機会を提供した。そして、大地のデコボコ（小流域の地形）の特徴に合った賢い雨水の引き受け方等を一緒に考えることで、まちの防災について考える総合学習の授業を行なった。また、出張授業実施後には参加した児童を対象としたアンケート調査を行い、授業を通してどのような気づきや意識の変化が得られたのかを調査・分析した。

講義内容：1 みんなのまちの姿を見つめ直して考えてみよう

2 みんなの小学校をまるごと3D化してみよう！

3 近年の夏～秋の天候を振り返ってみよう！

4 大地のデコボコから、みんなのまちの防災を考えてみよう



田中教授による講義



田中研究室の学生による講義



3D化した南原小学校に興味津々！



地形模型に触れ、大地のデコボコを体感



3D スキャナーにも興味を
持っていました！

普及啓発の取組について

2. 3D化プロジェクト町内会向け出前講義【新規取組】

1. 目的

明治大学田中研究室から「学校流域プロジェクト」で南原小学校児童向けに行っている出前授業について、同様の成果物を用いて地域の大人の方を対象に実施し、防災意識の啓発や意見交換等を行いたいと申し出があり、6月と10月にそれぞれの町会向けに実施した。

(1) 久地第2町会・久地東町会・溝口6丁目町会への出前講義

日 時：令和7年6月9日（月）18：00～19：00

場 所：高津区役所第1会議室

参加者：久地第2町会・久地東町会・溝口6丁目町会（約10人）

概 要：

2019年の台風19号で被害を受けた久地地域において、3次元計測技術を用いて3D点群データを取得した。取得したデータは、地形の高低差や傾斜の変化など、普段は目に見えない特徴を住民の方々にもわかりやすく可視化した図や断面図としてまとめ、地域住民を対象としたプレゼンテーションを実施した。

当日は、久地地域の成果物に加えて、これまでに取り組んできた南原小学校での出張授業で用いた成果物や他地域での取り組み事例もあわせて紹介し、「まちの中に潜む水災害リスク」について、参加者の皆さんとともに考える機会とした。

プレゼンテーション後には、参加者のご協力を得てヒアリング調査を行い、講義を通じてどのような気づきや意識の変化が得られたのかについての調査も行った。

実施の様子



(2) 上作延町内会への出前講義

日 時：令和7年10月15日（水）19：00～20：00

場 所：上作延町内会館

参加者：上作延町内会（約40人）

概 要：

出張授業を行ってきた南原小学校の地元である上作延地域において、子どもたちへの授業の成果物を用いて、地域住民を対象としたプレゼンテーションを実施した。

この地域では、これまで小学生向けに出張授業で用いた成果物を、一部アレンジし大人向けに再構成して実施した。身近な地形の断面図や建物配置を可視化した図像などに加えて、他地域での取り組み事例の紹介を通じて「まちの中に潜む水災害リスク」について、参加者の皆さんとともに考える機会とした。

プレゼンテーション後には、地域内の主要な関係者へのヒアリングと、参加者を対象としたアンケートを実施し、住民がどのように情報を受け止めたか、またどのような気づきを得られたのかについて、調査を行なった。

実施の様子



「エコシティたかつ」推進事業 令和8年度スケジュールについて

1 令和7年度からの主な動き

・「学校流域プロジェクト」の取組について

区内小学校及び中央支援学校への学習支援は、引き続き令和3年度に本事業で作成した環境学習支援の動画コンテンツを主に活用することに加え、令和8年度から10年度にかけては、高津区への寄附金を活用し、学校ビオトープを活用した出前授業（予定）を実施し、普及啓発に努める。（資料5-1参照）

・流域治水ガーデン（レインガーデン）の整備について

緑ヶ丘霊園内の湧水地付近で区民協働での整備を進めるとともに、霊園内に自生する希少植物や在来植物を区内企業や小学校で育成している。環境学習のみならず、ふるさと意識にも寄与する取組として「みどりの里親」と名付け、育成への協力者・事業者や学校の拡大を図るとともに、育成した植物を緑ヶ丘霊園に戻す。

※ 脱炭素アクションみぞのくちについて

脱炭素アクションみぞのくち推進会議及びプロジェクト推進部会の活動を通じてモデル地区の取組を継続。

2 令和8年度スケジュール

事業名	内容等
学校流域プロジェクト	・動画を活用したビオトープ管理（通年） ・小学校への流域治水ガーデン普及（通年） 等
「たかつの自然の賑わいづくり」事業	・水と緑の探検隊（12月頃） ・流域治水ガーデン整備推進（通年） ・「みどりの里親」事業の普及啓発（通年）
橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進	・高津さんの市（6回、通年） ・出張高津さんの市（2回、通年）
「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進	・「区民ミニ・ガーデン」連絡会（通年）
小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト	・小学校での出前授業（12月頃）
「エコシティたかつ」推進会議	・推進会議（年度末頃）

寄附金を活用する事業

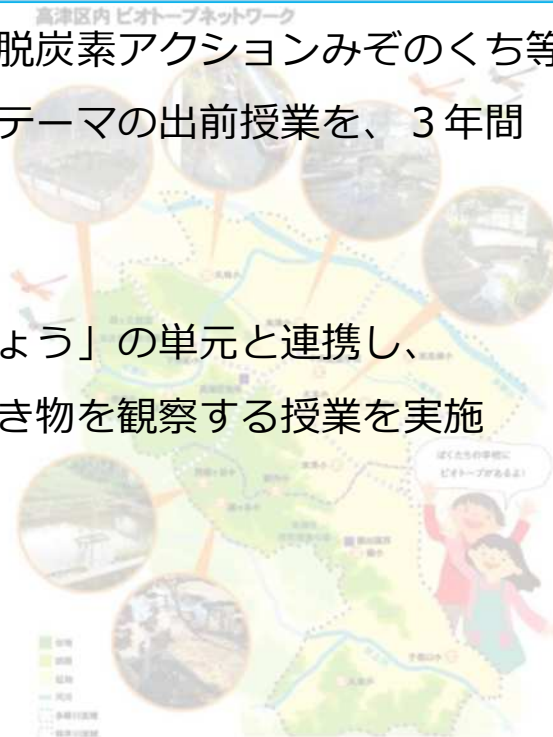


安全・安心で住みよいまちづくりの推進

学校ビオトープを活用した出前授業（予定）

R8~10

- ・エコシティたかつ推進事業や脱炭素アクションみぞのくち等、ネイチャーポジティブに資するテーマの出前授業を、3年間区内の小、中学校で展開
- ・小学5年生理科「魚のたんじょう」の単元と連携し、ビオトープに生息する様々な生き物を観察する授業を実施



任期：令和6年7月1日～令和8年6月30日

令和7年度「エコシティたかつ」推進会議 委員名簿

R7. 2. 1現在

区分		氏名	所属	職名
有識者	1	岸 由二	慶應義塾大学	名誉教授
	2	田中 友章	明治大学理工学部	教授
団体	3	庄司 佳子	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	センター長
	4	宮寺 貞文	高津区市民健康の森を育てる会	代表
	5	板倉 優子	たちばな農のあるまちづくり推進会議	推進委員
区内企業・その他	6	平澤 克己	NECプラットフォームズ株式会社（区内企業）	環境工務部 環境企画・首都圏グループ 担当
	7	島津 晏実	株式会社川崎フロンターレ（区内企業）	プロモーション部イベントチーム
	8	今川 広明	株式会社富士通ゼネラル（区内企業）	CSR推進部 シニアマネージャー
	9	安部 孝志	マルイファミリー溝口	営業担当マネージャー
	10	飯田 直仁	学校法人 洗足学園	法人本部財務責任者
市民	11	遠藤 慶子	市民委員	在宅介護者の会 代表
校長会	12	大泉 文人	川崎市立小学校長会高津支部	下作延小学校長

区分		氏名	所属	職名
【参与】 行政	1	山城 祥二	川崎市教育委員会 総合教育センター カリキュラムセンター	指導主事
	2	石田 明子	川崎市高津区役所	副区長
	3	内田 洋平	川崎市環境局総務部企画課	課長
	4	市川 伸之	川崎市環境局脱炭素戦略推進室(温暖化対策計画・協働推進担当)	担当課長
	5	藤野 貴司	川崎市建設緑政局総務部企画課	課長
	6	三浦 和弘	川崎市高津区役所地域みまもり支援センター(学校・地域連携担当)	担当課長
	7	舞木 史彦	川崎市高津区役所道路公園センター(協働・利活用推進担当)	担当課長

氏名	所 属	職名
【事務局】		
星 和明	高津区役所まちづくり推進部企画課	課長
宮下 拓	高津区役所まちづくり推進部企画課	担当係長
山森 大史	高津区役所まちづくり推進部企画課	主任
齊藤 淳	高津区役所まちづくり推進部企画課	主任
西田 佳子	高津区役所まちづくり推進部企画課	職員

「エコシティたかつ」推進会議開催運営等要綱

平成27年4月1日

26川高企第278号

(目的)

第1条 地球環境危機の時代において、高津区内で顕在化している自然環境・社会環境・生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組むための計画要素を含んだ基本的な方針である「エコシティたかつ」推進方針に基き、各種施策を推進するために「エコシティたかつ」推進会議（以下「会議」という。）を開催する。

(所掌事務)

第2条 会議は次の各号に掲げる事項について各委員から意見を聴くものとする。

- (1) 「エコシティたかつ」推進方針に関すること。
- (2) 「エコシティたかつ」推進方針に基づく各種施策に関すること。
- (3) その他環境まちづくりに関し必要と認められること。

(組織)

第3条 会議は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者から充てる。

- (1) 区民・区内事業者・区内学校関係者
- (2) 学識経験者

3 会議は、所掌事務に関係する市職員を、参与として会議に出席させることができる。

4 前項の規定により会議に出席した市職員は、参与として必要な助言をすることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じて区長が招集する。

(関係者の出席)

第6条 区長は、必要があると認めるときは、会議に委員及び参与の関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、高津区役所企画課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、区長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

3 平成20年6月2日制定、「エコシティたかつ」推進会議設置要綱は平成27年4月1日をもって廃止する。